

2019年度 全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成 助成者

(五十音順 敬称略 申請時所属)

氏名	所属	研究課題
大泊 香	大阪大学医学系研究科 皮膚科学教室	強皮症自己抗原と強皮症感受性HLAとの会合の解析に基づく強皮症マウスモデルの樹立
河本 亜美	東京医科歯科大学医学部 消化器内科	炎症性腸疾患におけるユビキチン様分子による蛋白制御を介した新規病態の解明
追野 卓士	横浜市立大学医学部医学科 眼科学	大規模ゲノムデータを用いたパスウェイ解析によるベーチェット病の発症機序の解明
白濱 新多朗	東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻眼科学	感染性ぶどう膜炎の病態形成に関与する長鎖ノンコーディングRNAの同定
土田 奈緒美	横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学	ベーチェット病を含む自己炎症性疾患の遺伝子スクリーニング
日比 則孝	北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター	生物学的製剤を使用している潰瘍性大腸炎、クローン病患者における血液、便、内視鏡検体を利用した薬物動態の解析
深澤 毅倫	東京大学医学部 皮膚科学教室	独自のマイクロ空間デバイスを用いた全身性強皮症の抗原特異的B細胞の機能解析
三好 潤	杏林大学医学部 消化器内科学	成人発症炎症性腸疾患に関与する幼少期腸管dysbiosisの検討
向井 康治朗	東北大学大学院生命科学系研究科 細胞小器官疾患学分野	炎症性腸疾患におけるSTING経路の活性制御機構の解明
森村 壮志	国際医療福祉大学市川病院 医学部皮膚科学講座	炎症性腸疾患と皮膚免疫に共通するEpCAMの機能解析
良原 丈夫	大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学	エネルギー産生・代謝異常を介した炎症性腸疾患における脳腸相関の機序の解明

* 本年度の研究助成対象テーマ: ベーチェット病、眼炎症性疾患、炎症性腸疾患、強皮症